## 【演習用】 iPad13巻 P352 《動画》褥瘡処置の手順

振設名   □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	実習科目	基礎 地域・在宅 成人 老年 小児 母性 精神 統合 (○で囲む)							
第名   東京精検   東   東   東   東   東   東   東   東   東	宝翌堤所	施設名 △△法人◇◇会 ○○○○病院							
世標1. 梅瘡のある患者への援助場面を見学し、関別性のある看護を学ぶ。 日標2. フィジカルアセスメントの場面を見学し、健康状態をアセスメントする。 日標2. フィジカルアセスメントの場面を見学し、健康状態をアセスメントする。 日標1: 梅瘡のケア 日標2:脳似塞発症7日日の患者のフィジカルアセスメント その他: 全身清拭、陰部洗浄、おむつ・寝衣交換 対象の背景 目標1: A氏(70歳代・女性) 寝たきりでADLは全介助。財・股・膝・足関節に拘縮あり。 るい痩あり。声掛けに対して返答はないが、うなずく。 「地震の処置と予防」「標瘡の処置と予防」「標瘡処置をすることをわかりやすくゆっくり説明する。露出部を最小限にし、皮膚の観察をしながら仙骨部のドレッシング材をゆっくり剥がす。泡立てた石鹸で患部を洗い微温湯で流した後に、水分を拭き取る。臀部の皮膚を引っ張りしたを除くようにして、ハイドロサイト ADを梅瘡部に貼付する。その寝夜水を整え、30度の角度で左側臥位とし、丸めたタオルを用いて下肢の重なりを避け難骨を浮かせるように体位を整えた。A氏の表情は処置中は変わらず、処置が終了したことを看護師が伝えると、軽くうなずいていた。 「援助の根拠」 日標1: ・ (④本日の実行での学び、実習目標に	天日物川	部署名 東4病棟							
①実習目標 日標2. フィジカルアセスメントの場面を見学し、健康状態をアセスメントする。 日標2. 潜療のケア 日標2: 脳梗塞発症7日日の患者のフィジカルアセスメント その他: 全身清試、陰部洗浄、おむつ・寝衣交換 対象の背景 日標1: A氏(70歳代・女性) 寝たきりでADLは全介助。肘・股・膝・足関節に拘縮あり。 るい痩あり。声掛けに対して返答はないが、うなずく。 日標1: 海瘡の処置と予防 海溶処置をすることをわかりやすくゆっくり説明する。露出部を最小限にし、皮膚の観察をしながら仙骨部のドレッシング材をゆっくり剥がす。泡立てた石鹸で患部を洗い微温湯で流した後に、水分を拭き取る。臀部の皮膚を引っ張りしわを除くようにして、ハイドロサイト ADを褥瘡部に貼付する。その後寝衣を整え、30度の角度で左側臥位とし、丸めたタオルを用いて下肢の重なりを避け瞳骨を浮かせるように体位を整えた。A氏の表情は処置中は変わらず、処置が終了したことを看護師が伝えると、軽くうなずいていた。 【接助の根拠】 「接触の根拠」 日標1:	実習月日	20XX年 12月 22日 学籍番号 〇〇〇〇 氏名 穴吹 花子							
日標1: 標確のケア 日標2: 脳極塞発症7日日の患者のフィジカルアセスメント その他: 全身清拭、陰部洗浄、おむつ・寝衣交換 対象の背景 目標1: A氏(70歳代・女性) 寝たきりでADLは全介助。肘・殺・膝・足関節に拘縮あり。 るい痩あり。声掛けに対して返答はないが、うなずく。  目標1: 海瘡の処置と予防 海瘡処置をすることをわかりやすくゆっくり説明する。露出部を最小限にし、皮膚の観察をしながら仙骨部のドレッシング材をゆっくり剥がす。泡立てた石鹸で患部を洗い微温湯で流した後に、水分を拭き取る。臀部の皮膚を引っ張りしわを除くようにして、ハイドロサイト ADを海瘡部に貼付する。その後寝衣を整え、30度の角度で左側臥位とし、丸めたタオルを用いて下肢の重なりを避け瞳骨を浮かせるように体位を整えた。A氏の表情は処置中は変わらず、処置が終了したことを看護師が伝えると、軽くうなずいていた。 (援助の根拠)  (少本日の実質での学び、実習目標に		目標1. 褥瘡のある患者への援助場面を見学し、個別性のある看護を学ぶ。							
日標2:脳梗塞発症7日日の患者のフィジカルアセスメント   その他:全身清拭、陰部洗浄、おむつ・寝衣交換   その他:全身清拭、陰部洗浄、おむつ・寝衣交換   対象の背景   目標1:A氏(70歳代・女性) 寝たきりでADLは全介助。肘・股・膝・足関節に拘縮あり。 るい痩あり。声掛けに対して返答はないが、うなずく。   日標1: 褥瘡の処置と予防   標態処置をすることをわかりやすくゆっくり説明する。露出部を最小限にし、皮膚の観察をしながら仙骨部のドレッシング材をゆっくり剥がす。泡立てた石鹸で患部を洗い微温湯で流した後に、水分を拭き取る。臀部の皮膚を引っ張りしかを除くようにして、ハイドロサイト   ADを褥瘡部に貼付する。その後寝衣を整え、30度の角度で左側臥位とし、丸めたタオルを	①実習目標	目標2. フィジカルアセスメントの場面を見学し、健康状態をアセスメントする。							
②見学した 場面 対象の 育景 目標1: A氏(70歳代・女性) 寝たきりでADLは全介助。肘・股・膝・足関節に拘縮あり。 るい痩あり。声掛けに対して返答はないが、うなずく。		目標1:褥瘡のケア							
②見学した場面対象の背景 目標1:A氏(70歳代・女性) 寝たきりでADLは全介助。肘・股・膝・足関節に拘縮あり。 るい痩あり。声掛けに対して返答はないが、うなずく。  目標1:褥瘡の処置と予防		目標2:脳梗塞発症7日目の患者のフィジカルアセスメント							
場面・対象の背景 目標1: A氏(70歳代・女性) 寝たきりでADLは全介助。肘・股・膝・足関節に拘縮あり。 るい痩あり。声掛けに対して返答はないが、うなずく。  目標1: 補殖の処置と予防		その他:全身清拭、陰部洗浄、おむつ・寝衣交換							
るい痩あり。声掛けに対して返答はないが、うなずく。  目標1: 褥瘡の処置と予防		対象の背景							
日標1: 褥瘡の処置と予防		目標1:A氏(70歳代・女性) 寝たきりでADLは全介助。肘・股・膝・足関節に拘縮あり。							
「特権処置をすることをわかりやすくゆっくり説明する。露出部を最小限にし、皮膚の観察をしながら仙骨部のドレッシング材をゆっくり剥がす。泡立てた石鹸で患部を洗い微温湯で流した後に、水分を拭き取る。臀部の皮膚を引っ張りしわを除くようにして、ハイドロサイト   ADを褥瘡部に貼付する。その後寝衣を整え、30度の角度で左側臥位とし、丸めたタオルを用いて下肢の重なりを避け踵骨を浮かせるように体位を整えた。A氏の表情は処置中は変わらず、処置が終了したことを看護師が伝えると、軽くうなずいていた。 [援助の根拠]   [援助の相加]   [援助の相加]		るい痩あり。声掛けに対して返答はないが、うなずく。							
「特権処置をすることをわかりやすくゆっくり説明する。露出部を最小限にし、皮膚の観察をしながら仙骨部のドレッシング材をゆっくり剥がす。泡立てた石鹸で患部を洗い微温湯で流した後に、水分を拭き取る。臀部の皮膚を引っ張りしわを除くようにして、ハイドロサイト   ADを褥瘡部に貼付する。その後寝衣を整え、30度の角度で左側臥位とし、丸めたタオルを用いて下肢の重なりを避け踵骨を浮かせるように体位を整えた。A氏の表情は処置中は変わらず、処置が終了したことを看護師が伝えると、軽くうなずいていた。 [援助の根拠]   [援助の相加]   [援助の相加]									
しながら仙骨部のドレッシング材をゆっくり剥がす。泡立てた石鹸で患部を洗い微温湯で流した後に、水分を拭き取る。臀部の皮膚を引っ張りしわを除くようにして、ハイドロサイト   ADを褥瘡部に貼付する。その後寝衣を整え、30度の角度で左側臥位とし、丸めたタオルを   用いて下肢の重なりを避け踵骨を浮かせるように体位を整えた。A氏の表情は処置中は 変わらず、処置が終了したことを看護師が伝えると、軽くうなずいていた。   [援助の根拠]		目標1:褥瘡の処置と予防							
流した後に、水分を拭き取る。臀部の皮膚を引っ張りしわを除くようにして、ハイドロサイト ADを褥瘡部に貼付する。その後寝衣を整え、30度の角度で左側臥位とし、丸めたタオルを 用いて下肢の重なりを避け踵骨を浮かせるように体位を整えた。A氏の表情は処置中は 変わらず、処置が終了したことを看護師が伝えると、軽くうなずいていた。 〔援助の根拠〕  【援助の根拠〕  目標1:  ④本日の実習での学び (実習目標に		褥瘡処置をすることをわかりやすくゆっくり説明する。露出部を最小限にし、皮膚の観察を							
ADを褥瘡部に貼付する。その後寝衣を整え、30度の角度で左側臥位とし、丸めたタオルを用いて下肢の重なりを避け踵骨を浮かせるように体位を整えた。A氏の表情は処置中は変わらず、処置が終了したことを看護師が伝えると、軽くうなずいていた。  [援助の根拠]   「援助の根拠]   「関助の根拠]   「関助の相対]   「関加]   「「関加]   「関加]   「「関加]   「「関加]   「「関加]   「「関加]   「「関加]   「「関加]   「「関加]   「「関加]   「「「関加]   「「「「関加]   「「「「「「関加]   「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「		しながら仙骨部のドレッシング材をゆっくり剥がす。泡立てた石鹸で患部を洗い微温湯で							
③看護師の長助の実際と根拠/対象の反応とデータ       [援助の根拠]         (2) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )		流した後に、水分を拭き取る。臀部の皮膚を引っ張りしわを除くようにして、ハイドロサイト							
③看護師の 援助の実際と 根拠/対象の 反応とデータ       (援助の根拠)         目標1:       目標1:         ①本日の実習での学び (実習目標に       1		ADを褥瘡部に貼付する。その後寝衣を整え、30度の角度で左側臥位とし、丸めたタオルを							
③看護師の接助の実際と根拠/対象の反応とデータ 日標1:  ①本日の実習での学び(実習目標に		用いて下肢の重なりを避け踵骨を浮かせるように体位を整えた。A氏の表情は処置中は							
技動の実際と 根拠/対象の 反応とデータ	② <b>壬</b> 类红。	変わらず、処置が終了したことを看護師が伝えると、軽くうなずいていた。							
反応とデータ		〔援助の根拠〕							
日標1:  (4本日の実習での学び(実習目標に									
<ul><li>④本日の実習での学び(実習目標に</li></ul>	火心とケーク								
<ul><li>④本日の実習での学び(実習目標に</li></ul>									
<ul><li>④本日の実習での学び(実習目標に</li></ul>									
<ul><li>④本日の実習での学び(実習目標に</li></ul>									
<ul><li>④本日の実習での学び(実習目標に</li></ul>									
<ul><li>④本日の実習での学び(実習目標に</li></ul>									
<ul><li>④本日の実習での学び(実習目標に</li></ul>									
<ul><li>④本日の実習での学び(実習目標に</li></ul>									
での学び (実習目標に		目標1: 							
での学び (実習目標に									
(実習目標に	④本日の実習								

1.事前学習			【演習用】				
2.	記録	用紙表面に記載できなかった内容を記録する。					
•	実習	習目標以外に実習を通して学んだこと					
3. 4	今後	の学習課題					
	項	内容	学生自己 評価	指導	者評価	(該当欄	闌(こ○)
	目		(A-D)	А	В	С	D
		1)学びたいことを明確にし、実習に臨むことができる 2)既習知識を生かし、見学した看護について根拠を持って考えることができる					
	子習	3)健康障害や身体変化が対象に及ぼす影響について考察した内容を記述できる。(統合実習の場合は看護管理・医療安全)					
評		4)実習の学びを明確に述べることができる					
価		5)自己を振り返り、今後の看護に生かす方法を明確にしている					
		6)敬語、丁寧語を正確に使い、相手を尊重したコミュニケーションがとれる					
	習	7)清潔感のある身だしなみをしている					
		8)積極的に学習行動をとることができる					
		9)指導者・スタッフに積極的に助言を求めたり、質問できる					
		10)時間厳守で行動できる					
<=	メント	·>					•
			7_		午		- н